

県立図書館通信

令和5年12月号
(令和5年11月末発行)



©326

佐賀県立図書館の蔵書の中から、高校生にお薦めの本を紹介します。

新刊図書



『となりのブラックガール』
ザキヤ・ダリラ・ハリス/著
早川書房/発行
資料コード 116437450

白人だらけの出版社で同僚となった2人の黒人女性、ネラとヘイゼル。しかしトラブルが起き、ネラの評価が下がる一方で、うまく立ち回ったヘイゼルは上層部に目をかけられる。その運命を分けた、巨大な陰謀とは？



『経済学の道しるべ』
岩田 規久男/著
夕日書房/発行
資料コード 116435876

経済と政治、選挙と経済…。生活に密着する事柄と、マスメディアや SNS などから流れる「誤った経済情報」を取り上げて、世界標準の経済学の立場からそれらの誤りを糾し、経済の仕組みを正しく理解できるように説明する。



『抵抗への参加』
キャロル・ギリガン/著
晃洋書房/発行
資料コード 116435785

ケアの倫理は、フェミニストの倫理であると同時に人間の倫理。「もうひとつの声で」の刊行から時を経て、著者がたどりなす抵抗の軌跡。彼女の半生の語りと、そこから紡ぎ出されるケアの倫理をめぐるアカデミックエッセイ。



『弑逆者』
アラン・ロブ＝グリエ/著
白水社/発行
資料コード 116439399

絶海の孤島では「眠る人魚の誘惑」が、工場では「王殺しの冒険」が物語られていき…。執筆後30年を経て発表された、アラン・ロブ＝グリエの幻のデビュー作。彼の私的体験から直接生まれた、最も自伝的色彩のつよい小説。

読書感想文におすすめの本を紹介します！

この冬、自分の心に残る一冊を見つけてみませんか？



『自転しながら公転する』
山本 文緒/著
新潮社/発行
資料コード 116241605

東京で働いていた32歳の都は、親の看病のために実家に戻り、近所のモールで働き始めるが…。結婚、仕事、親の介護、ぐるぐる思い惑いながら幸せを求める姿を描く。『小説新潮』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。



『「自分らしさ」はいらない』
松浦 弥太郎/著
講談社/発行
資料コード 115725038

頭を使わず、心で考えてみましょう。そうすれば答えは見えてきます。「自分らしさ」などちっぽけなことだ。くらしと仕事に役立つ、こころのつかい方を紹介。自分らしさを捨てて、可能性を広げるためのヒント集。

2019年に本屋大賞を受賞されています!!



『掬えば手には』
瀬尾 まいこ/著
講談社/発行
資料コード 116331893

中学3年のときに、人の心を読めるという特殊な能力に気づいた大学生の匠。ところが、バイト先で出会った常盤さんは、匠に心を開いてくれなくて…。「幸福な食卓」「そして、バトンは渡された」に連なる、究極に優しい物語。



第59回 新春読書感想文コンクールの作品を募集しています!

心に残った感動や想いを文章で表現してみませんか?

詳しくは募集要項を御覧ください。
募集要項はこちら



©県立図書館HP

<https://www.tosyo-saga.jp/>

■編集■ 佐賀県立図書館 司書ネットワーク課 図書館・司書支援担当 (0952-24-2900)

◎この通信は県立図書館のHPにも掲載しています。蔵書検索もできます。

☞<https://www.tosyo-saga.jp/>

お問い合わせはこちらまで